

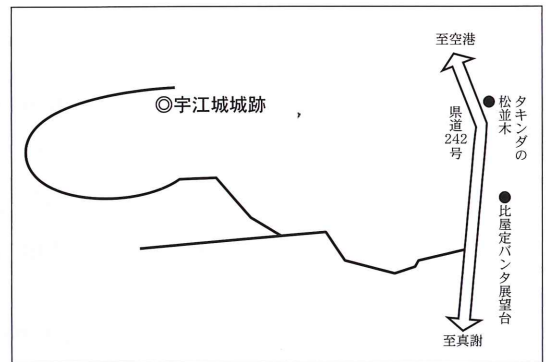


宇江城城跡

指定名称 う え ぐ す く じ ょ う あ と 宇江城城跡(国指定史跡)
 所在地 久米島町字宇江城
 指定年月日 平成21年7月23日

久米島で最も高い宇江城岳(310m)の山頂に築かれた、山城形式のグスクである。

グスクの構造は梯郭式で、城壁は平割にした安山岩の野面積みによって築かれている。東方最上壇の郭は、城内で最も高く物見跡といわれており、そこでは城壁の石垣がよく残っている。西側の郭の城壁は低く、前大戦まで城門などもよく残っていたということであるが、戦後米軍の基地の建設に伴い、破壊された。復帰後に自衛隊施設



となったが、平成13年度に施設の一部が返還され、現在では城内に自由に入ることが出来る。

記録によれば、伊敷索按司の長男、く め な か く し く久米中城按司が堂の比屋の下女オトチコバラの勧めでこの地に定め、築城はむくち樽金たるがにが請負い、完成したとある。

尚真王代に王府軍の攻撃を受け、火攻めにあって落城したと伝えられている。発掘調査により中国製陶磁器が大量に出土した。